



## 「愛・ありがとう」

### 第 52 代理事長 松本芳昭

昨年四月に、岸本前理事長より、伝統ある大阪菓業青年クラブの理事長を受け継ぎましたが、その責務の重大さに当初は、戸惑うことばかりでした。しかし、月日の経過というものは、大変早く、無事理事長という大任を果たすことができましたのは、ひとえにたくさんの皆様方と出会い、そして支えられた結果であると心より深く感謝申し上げます。

まず、はじめに臨時総会にて、定年制延長という規約改正の議案につきまして、皆様方には、十分慎重に審議して頂き、また、議案の主旨をご理解して

頂き、ご賛同頂きましてことをお礼申し上げます。理事長とし、また、一クラブ員として、これから直面するであろう大きな問題を先延ばしにするのではなく、将来の会運営のことを会員皆様方と考えるよい機会になったと思っております。また、このことによって、当クラブがより魅力ある会として、また、活気のある会として成長していくものとだとも信じております。

今年一年間、"愛あふれる青年クラブをめざして"をテーマとして運営してまいりました。クラブ員様が、青年クラブの活動や、会員相互の繋がりの中で青年クラブを愛する気持ちをもちながら、縦の繋がりはもちろんのこと、横の繋がりを大切にし、クラブ員様のみならず会員様のご家族・さらには社会にも愛される青年クラブになるようよりよい事業、よりよい活動を行ってまいりましたが、まだまだ力不足で、反省することも多々ございました。これからも、会員の皆様方には、事業やクラブ運営に参加することをぜひお願い申し上げます。クラブに対する希望や批判は、その後からでも十分遅くないと思います。参加しなければ、確実に、その時は過ぎ去ってしまいます。受け身の姿勢ではなくて、参加する姿勢でこれからもどうぞお願い申し上げます。

最後になりましたが、一年間 理事長という重責を遂行できましたのもひとえに役員の皆様方、ならびに会員の皆様方のご協力やご助言によるものと深く感謝致します。この場をお借りして、深くお礼申し上げます。皆様方のより一層のご発展を祈念致しまして一年間のお礼とさせていただきます。